

## 【地理】作問のねらいとする主な「思考力・判断力・表現力」についてのイメージ（素案）

検討中

下段は、上段に挙げている学習過程の場面において発揮する力のうち、大学入学共通テストにおいて問いたい「思考力・判断力・表現力」

※高等学校学習指導要領の見直しの内容等を踏まえ、更に整理する。

	【考察・構想※】	【説明】
大学入学共通テストにおいて問いたい「思考力・判断力・表現力」	●地理的な事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察することができる	●考察したことや構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる
	●地理的な課題を把握し、複数の立場や意見を踏まえ、その解決に向けて構想することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を振り返って結論をまとめることができる</li> <li>・結論について検証することができる</li> <li>・新たな問い（課題）を見出したり追究したりすることができる</li> </ul>
	事象について位置や分布などからとらえ考察することができる	地理的な事象を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる
	事象が生起している場所の特徴をとらえ考察することができる	
	地理的事象について人間や社会と自然環境との相互依存関係などの関わりをとらえ考察することができる	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作問にあたっての場面設定の工夫例</li> <li>・地理的な課題を探究する活動を通して、その解決や持続可能な将来の在り方を展望する場面</li> <li>・資料から地理的事象を読み取り、地域の変容や構造を考察し、それらの地域にみられる地域的特色や課題について説明したりする場面</li> <li>・新たな発見や理解の深化を見だし、改めて課題を設定し、情報の収集、整理・分析を行っていく場面</li> </ul> </div>
	地理的事象について空間的相互依存作用など地域間の様々な関係をとらえ考察することができる	
	地域的特色について空間軸と時間軸を踏まえ多面的・多角的に考察することができる	
	地理的な課題について多面的・多角的に考察し、解決策を合理的に構想（選択・判断）することができる	

※ 構想については、社会科系科目に見られる課題の解決に向けて、広い視野から構想（選択・判断）することを示している。（参考：『平成28年12月21日中央教育審議会答申』138ページ）

○自由記述では、以下のことを問える可能性がある。

- ・主題図などの資料を、適切に作成することができる
- ・地理的な事象を多面的・多角的に考察し、構想した結果、地域調査や諸資料などの根拠に基づいて論理的・効果的に表現することができる
- ・現代世界の地理的な課題の解決について、自らの解釈も加えて意見を形成し、適切に表現することができる
- ・課題に対して、具体的な解決策を提言することができる